

＜ 競 技 注 意 事 項 ＞

- 1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会規定にもとづいて競技を行う。
 - 2 選手の招集場所は、次の通りとする。
 - ・主競技場での種目：雨天練習場西側（フィニッシュライン側）
 - ・補助競技場での種目：サブトラック出入口
 - 3 招集時刻は、次のとおりとする。
 - ・トラック競技：競技開始時刻の30分前開始、20分前完了。
 - ・フィールド競技：競技開始時刻の40分前開始、30分前完了。
- ＜招集の手順＞
- ① 招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスとスパイクピンの点検を受ける。
 - ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係に申し出る。その場合、代理人の点呼を認める。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
- ※ プログラム記載のナンバーや名前に訂正がある場合は、ただちに本部総務員に申し出ること。
- 4 アスリートビブスは、規定に従った登録番号のものを胸・背につける。
トラック競技は、各自のレーン番号をプログラムで確認し、腰ナンバーを右側の腰につけること。
腰ナンバーは中・高校生を除き、最終点呼時に競技者係より渡す。
種目によっては別ナンバーを使用することがあるので、競技者係の指示に従うこと。なお、別ナンバー及び腰ナンバーはレース後すぐに返却すること。（中・高校生は、保有の腰ナンバーを使用すること。ただし1500m以上の種目は、別ナンバーカードを渡す。）
 - 5 レーン順・試技順は、プログラム記載順とする。決勝進出者は、番組編成の掲示を確認すること。
 - 6 トラック種目について
 - (1) 予選はすべてタイムレースとし、上位8名が決勝に進出する。ただし、一般高校800mは6名、中学800mは9名が決勝に進出する。
 - (2) 小学校種目、1500m以上の種目及び男女400mH・30代・40代・50代100mの各種目は、タイムレース決勝とする。
 - (3) 1500m以上の種目は、別ナンバーカードを渡す。
 - (4) リレーのオーダー用紙の提出については次の通りとする。（プログラム最終ページのものを使用する）

	提出先	提出時刻
予選	総務番編	すべての種目について、9:00～11:00
決勝	総務番編	オーダー変更の有無に関わらず、競技開始時刻の1時間前までに提出

- 7 フィールド種目について
 - (1) 測定基準記録は以下のとおりとする。

種目	中男走幅跳	中女走幅跳	一高男走幅跳	一高女走幅跳	一高男三段跳
記録	5m00	4m00	5m80	4m30	11m00
種目	中男砲丸投	中女砲丸投	中男円盤投	中女円盤投	中男三段跳
記録	7m00	7m50	全員計測	全員計測	9m50

- (2) バーの上げ方は以下のとおりとする。（練習は5cm下の高さ）

一高男走高跳	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	以降3cmずつ上げる
一高女走高跳	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmずつ上げる
中男走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmずつ上げる		
中女走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	以降3cmずつ上げる			

* 審判長の判断により変更される場合があります
- (3) やりは下記の場合・時刻に検査を受けたものだけ各自のものを使用することができる。
検査場所：フィニッシュ地点側用器具庫内
検査時刻：男子 → 12:20～12:30 女子 → 13:50～14:00

- 8 その他
 - (1) ウォーミングアップは、主競技場において競技に支障のないように行うこと（投擲競技を除く）。ハードル練習は、8:45まで主競技場内で行うことができる。
 - (2) スターティングブロックは、競技場備え付けのものを使用すること。
 - (3) スパイクは、9mm以下の全天候用のものを使用すること。（走高跳・やり投は12mm以下）
 - (4) 申し込み後の選手の変更は認めない。
 - (5) 貴重品の管理は、各自が責任をもって行うこと。（盗難、置き引き防止）
 - (6) 番組編成および結果は、Cゲート付近通路に掲示する。
 - (7) 割り当てられている各学校の補助員は、8:10に主競技場本部前に集合して指示を受けること。
 - (8) 3位まで賞状を授与する(小学生は6位まで)。小・中学生の各種目優勝者にはメダルを授与。小学生は表彰式を本部前で行います。6位までの入賞者は競技終了後にロビーに集合すること。
 - (9) 規定外シューズの使用は認めない。